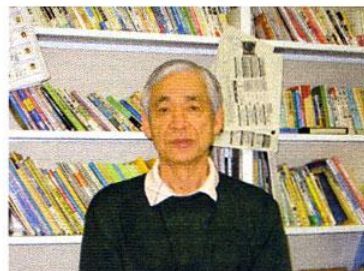


Q 1 総合型地域スポーツクラブに関わったきっかけは？

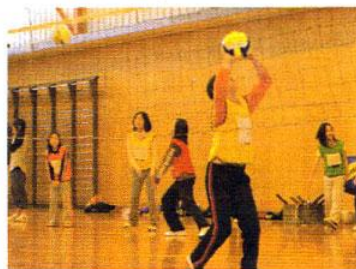
塚 2001年、当時私は文部科学省のモデル事業として総合型地域スポーツクラブを支援する「えひめ広域スポーツセンター」の企画運営委員会委員長として、総合型クラブ創りを推進しなければならない立場にありました。県教育委員会は県内各地に社会教育主事を派遣し総合型地域スポーツクラブの設立を推し進めようとしていましたが、一朝一夕にできるものではなくクラブ創りは難しいものでした。自分でもクラブの設立、運営を行いそのその課程を検証する必要があると考えておりました。数年後、総合型クラブの創設を推進する県体育協会の支援もあり、愛媛大学教育学部の地域貢献の一環として総合型クラブを国立学校法人として日本で初めて設立することとなりました。創るからには中途半端はイヤだったので全国各地の総合型地域スポーツクラブを視察しました。その中で早稲田大学が総合型クラブを運営しておりましたが、これを参考にしながら、教員・学生・地域が一体となった愛媛大学独自のやり方を取り入れました。2006年に総合型クラブを設立し現在に至っています。



理事長 塚 賢治教授

Q 2 運営にあたって一番の喜びは？

塚 当クラブのスタッフは各教授と学生達です。設立時には各教授の先生方が全員が賛成していただき運営にも積極的に協力いただきており感謝しております。日々のクラブ運営の中で、学生達は指導者という立場に変わります。この経験が学生を成長させてくれ、日々成長しているのが解かります。



Q 3 運営にあたって一番の苦勞は何？

塚 クラブ創設に際しての最大の山場は学長へのプレゼンテーションでした。これをクリアすることにより、クラブの設立を大学側にも認めてもらい愛媛大学の冠をつけることができ、以後活動が順調に進みました。運営の苦勞はあまりありませんが、先生 11 人、学生 120 人の大所帯をクラブの 4 つの知念に向かってどうまとめるかです。そのため 7 チーム、8 教室に 1 回生から 4 回生までの学生を割り振り、タテの集団を作り組織的な運営を心がけています。

Q 4 このクラブのPRをお願いします。

塚 他のクラブでは、施設利用料、スタッフの人件費などに多大な費用を要するのが常ですが学生の協力、学校施設の活用により当クラブではさほどかかりません。運営上諸々の助成金などにしぼられることもありません。だからこそ主眼を会員の皆さん、学生スタッフに向ける事が出来ます。今後この考えの下、クラブ運営を図って行きたいと思えます。

Q 5 将来どんなクラブにしていきたいですか？

塚 クラブ設立の主旨からも愛媛大学総合型クラブの運営だけに目を向けるのではなく、他のクラブへの支援も行っていきたいと考えております。その為の出来るサポートは行っていきたいと思っています。クラブの運営で悩み事などあればご連絡下さい。一緒に考えましょう。また、チャンピオンシップを目指すスポーツも応援していきたいと思っています。各地域の総合型地域スポーツクラブから平成 29 年に行われる愛媛国体で活躍できるチーム、選手が出てくることを期待しています。私たちの手で地域総合型スポーツクラブから“愛媛”をもりあげて行きたいと思えます。私たちの地域はこの愛媛なのですから!!

